

【記入例】

様式第1-1号 (第9条第1項、第9条第2項2号)

【A】

高等職業訓練促進給付金等支給申請書

※ボールペンで記載してください (消せるボールペン、鉛筆は不可)
 ※修正時は二重線に訂正印で修正してください (修正テープの使用不可)

横浜市 区 年 月 日

※ ↓ 該当するものに○をつけること。

次のとおり 高等職業訓練促進給付金、特定高等職業訓練促進給付金、高等職業訓練修了支援給付金 の支給を受けたいので申請します。

また、給付金の支給に関し、私の住民票関係情報、世帯関係情報、児童養育手当の支給、雇用保険法による教育訓練給付金の支給に関する情報、職業訓練修習開始した人は、こちらにも○をしてください。照会することに同意するとともに、給付金の支給に関する情報を区福祉保健センター及び横浜市母子家庭等就業・自立支援センターと共有することに同意します。 ↓ 12桁の個人番号をご記入ください

① 氏名	フリガナ ○○○ ○○○	個人番号	1234 5678 9012		
	○○ ○○	生年月日	平成 元 年 2 月 3 日		
② 住所	(〒 123 - 4567) 横浜市○○区○○町 1-2-3	電話	(自宅) 045-1234-5678 (携帯) 090-1234-5678		
③ 過去の受給の有無	過去に (高等職業訓練促進給付金・特定高等職業訓練促進給付金・高等職業訓練修了支援給付金) を受けたことがある ・ <u>ない</u> ← 「ある」の場合は受給できません				
④ 本給付金と同時に利用する給付金・貸付金	<u>ある</u> ・ ない				
④で「ある」を選択した場合、給付金・貸付金の名称	高等職業訓練促進給付金貸付金 (申請予定)				
⑤ 養成機関及び修業内容について	養成機関名	○○看護専門学校 (<u>全日制</u> ・ 定時制 ・ 通信制)			
	住所	横浜市△△区△△町 4-5-6			
	修業期間	令和×年4月1日 ~ 令和△年3月31日	養成区分	<u>昼間</u> ・ 夜間	
修業に係る資格等	<u>看護師</u> 、准看護師・介護福祉士・保育士・理学療法士・作業療法士 歯科衛生士・理美容師・社会福祉士・製菓衛生師・調理師・()				
⑥ 就業又は育児と修業の両立が困難である理由	週5日、9時から16時まで授業があり、 仕事との両立が困難であるため ← できるだけ具体的に記入ください				
⑦ 希望する支払金融機関	金融機関名	○○	銀行	○○	支店
	※特定訓練促進給付金と ・本人名義の口座をご記入ください ・ゆうちょ銀行を指定される場合、 口座番号を7桁にしてご記入ください (フリガナ) 口座番号義人	口座番号	<u>普通</u> 当座	1234567	
		○○○ ○○○ ○○ ○○	非課税 ・ <u>課税</u>		



←ゆうちょ銀行のウェブページで記号番号から振込用の店名・預金種目・口座番号を調べることができます

(注意)

- 「④本給付金と同時に利用する給付金・貸付金」欄に「ある」と記載する場合は、必ず記載してください。
- 修業証明書等を添付する場合は、「⑤養成機関及び修業内容」欄に記載する必要はありません。

・一緒に住んでいる家族が課税の場合は、申請者本人が非課税であっても「課税」世帯となります(4月～7月分は前年度、8月～翌年3月分は当年度の課税状況で決まります)。
 ・課税状況は、市県民税の納税通知書や課税(非課税)証明書などで確認できます。

⑨申請者と お子さんと一緒に住んでいる家族などについて
 ※ 住民票の (住民票の世帯が分かれている人も含め) 全員を記入してください
 ↓ 12桁の個人番号をご記入ください

1 氏名	フリガナ ○○○ △△△	個人番号	2234 5678 9012		
	○○ △△	生年月日	令和元年3月4日	続柄	子
住所 (別居の場合)	(〒 -)	申請者の地方税上の扶養親族に <u>該当</u> ・ 非該当			
2 氏名	フリガナ ○○○ ×××	個人番号	3234 5678 9012		
	○○ ××	生年月日	昭和40年5月6日	続柄	母
住所 (別居の場合)	(〒 -)	申請者の地方税上の扶養親族に <u>該当</u> ・ 非該当			
3 氏名	フリガナ	個人番号			
		生年月日	年 月 日	続柄	
住所 (別居の場合)	(〒 -)	申請者の地方税上の扶養親族に <u>該当</u> ・ 非該当			
4 氏名	フリガナ	個人番号			
		生年月日	年 月 日	続柄	
住所 (別居の場合)	(〒 -)	申請者の地方税上の扶養親族に <u>該当</u> ・ 非該当			
5 氏名	フリガナ	個人番号			
		生年月日	年 月 日	続柄	
住所 (別居の場合)	(〒 -)	申請者の地方税上の扶養親族に <u>該当</u> ・ 非該当			
(備考)					